

中1ギャップ問題の解決に向けたパイロット事業

1. 別室登校等サポート事業

- (1) 内容：不登校・不登校傾向のある港区内の小学校の児童にサポーターを配置し、別室での見守りや学習支援、登校への付き添い等の支援を、小学校から中学校へ継続して行うことにより、中学校での不登校の予防を図る。2学期から事業実施。
- (2) 活用実績：活用校3校（三先・築港・市岡小学校）、対象児童10名（6年4人、5年2人、4年2人、2年2人）、サポーター9人、活動日数188日、活動時間357時間（平成27年3月末現在）

2. 「家庭学習の手引き」

- (1) 内容：保護者参加で作成（全3回、延11人）。
内容は別添『港区版 家庭学習の手引き』のとおり
- (2) 配布：現小学1年生～中学2年生の保護者を対象に、27年3月5日以降、各学校を通じて配布。新小学1年生の保護者へは、27年5月に各小学校を通じて配布。
併せて、区外からの転入者にも区役所で転入手続時に配布を開始。

3. 春休みに使用する家庭学習のプリント（「みなりん学習ドリル」）

- (1) 内容：小学校6年生が中学校への入学までの春休み期間に「家庭学習の手引き」にそった家庭学習を実践するために使用する、国語、算数、英語（アルファベット）の3教科の問題と解答を大阪府教育委員会の「自学自習力をはぐくむワークブック問題」を元に区内小中学校の協力を得て作成。区内市立中学校の担任へ始業式に提出。
- (2) 配布：6年生児童を対象に、27年3月5日以降、各小学校を通じて配布。

4. 家庭学習についての講習会

- (1) 内容等：「家庭学習の手引き」の説明・活用方法。別添チラシのとおり。
- (2) 広報：2月5日までに学校を通じて全保護者対象に配布。区HP、ツイッター、フェイスブック。区内5中学校の入学予定者のための学校説明会（1月30日、2月3日）において説明。
- (3) 参加者数：全5回、計27人

5. 教育フォーラム

- (1) 内容等：子どもたちの学力向上にむけて家庭での生活・学習習慣づくりの大切さ等についてのパネルディスカッション。（3月15日・中央体育館大会議室）
- (2) 広報：広報みなと3月号、区HP、ツイッター、フェイスブック。
チラシを区内小中学校を通して全校児童・生徒の保護者へ、3月5日以降案内チラシを「家庭学習の手引き」とともに各学校を通じて配布。